

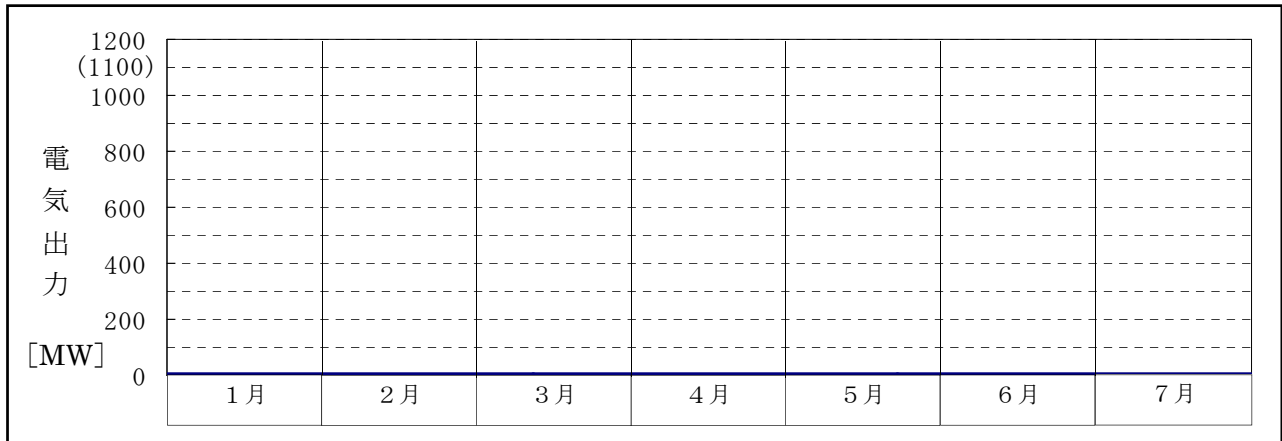
令和元年 9月 3日  
東北電力株式会社

## 東通原子力発電所の現在の状況について

### 1. 運転状況

- 平成23年2月6日より第4回定期検査を実施中

### 2. 電気出力（平成31年1月～令和元年7月）



### 3. その他

#### (1) 東通原子力発電所1号機における新規規制基準適合性審査の状況について

- 平成26年6月申請以降、継続的なヒアリングや審査会合において当社の申請内容を説明してきており、これまでに審査会合は19回開催されております。
- 現在、当社は、新規規制基準適合性に係る審査会合において、一切山東方断層（F-1断層）を代表とした敷地～敷地近傍（敷地を中心とする半径5km程度の範囲）の断層は、「震源として考慮する活断層」に該当しないことを説明しましたが、原子力規制委員会からは、地下深部の地質構造について追加説明を求められております。
- このため、当社は、より説明性を高める観点から調査範囲を拡大し、平成31年3月27日から反射法地震探査やボーリング調査による補足の地質調査を開始しており、今月末の終了を目指して鋭意実施しております。なお、原子力規制委員会に対しては10月以降に準備が整い次第、説明する予定としております。
- また、令和元年6月7日の審査会合においては、基準津波や敷地周辺（敷地を中心とする半径100km程度の範囲）の断層に関する評価結果を説明し、原子力規制委員会からは資料の充実や評価の保守性についての説明を求められたことから、継続審議となりました。
- 今後、現在実施中の補足調査による新たなデータを必要としない地震動評価に係る審査などについて、準備が整ったものから順次説明を進めてまいりたいと考えております。

(別紙1) 東通原子力発電所の補足の地質調査の概要について

## (2) 株式会社フジクラの不適切な行為に関する当社原子力発電所における調査結果について

- 当社は、株式会社フジクラ（以下、フジクラ）の不適切な行為を踏まえ、当社原子力発電所における不適切な行為が行われた製品の使用状況や設備への影響について調査してまいりました。
- 調査の結果、不適切な行為が行われた製品が使用されていることを確認しましたが、フジクラにおけるこれまでの製造実績や検査記録、当社による性能確認や工場への立入調査などにより、いずれの製品も性能・品質に問題がなく当社原子力発電所への安全性に対する影響はないことを確認し、平成31年3月5日に公表いたしました。

(別紙2) フジクラの不適切行為に係る東通原子力発電所の調査結果について

### 【参考】フジクラの不適切な行為の概要

フジクラおよびグループ会社の製品の一部（送配電用電線、産業用電線、通信用ケーブル等）について、検査項目の未実施、頻度不足等、品質管理に係る不適切な行為が行われていたもの。

なお、不適切な行為の事案の内容は以下のとおり。

- 材料試験の未実施
- 他の試験を終えた試料で耐放射線試験を実施すべきところ、別の試料で実施
- 出荷時の試験成績書へ、実際とは異なる値または未実施の試験結果を記載 等

## (3) 東通原子力発電所の原子炉施設保安規定変更認可について

- 平成31年3月1日、原子力発電所を安全に運転・管理するために遵守すべき事項を定めた「原子炉施設保安規定」の変更認可申請を原子力規制委員会へ行い、令和元年6月3日に認可をいただきました。
- 今回の変更認可申請において変更した主な内容は「保安に関する組織」等の変更であり、原子力防災業務のさらなる強化および責任の明確化を目的として、新たに「防災課」を設置いたしました。

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<http://www.tohoku-epco.co.jp>)

## 東通原子力発電所の補足の地質調査の概要について

- 発電所の敷地～敷地周辺の「震源として考慮する活断層」に関する審査において、当社は、一切山東方断層（F-1断層）を代表とした敷地～敷地近傍の断層は「震源として考慮する活断層」に該当しないことを説明しておりますが、断層の活動性評価に関する説明性向上を目的に、平成31年3月27日より補足調査を行っております。
- 具体的には、東通村猿ヶ森地区から六ヶ所村泊地区内において、地下の地質分布、断層等を調べる「反射法地震探査」・「ボーリング調査」、地表の地質状況を確認する「地表踏査・露頭調査」を実施しています。



### 《調査内容》

調査項目	調査目的	調査規模
①	反射法地震探査	地下深部の地層・基盤の分布等の地質構造を確認する。
	地表踏査・露頭調査	反射法地震探査測線沿いの地表地質状況を確認する。
②	地質確認ボーリング	敷地北方における地質分布、地層・岩相の物性等を確認する。
③	一切山東方断層確認ボーリング	一切山東方断層の傾斜等の傾向を確認する。

### 《調査工程》

調査項目	～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
調査準備	■						
反射法地震探査		■	■	■	■	■	■
地表踏査・露頭調査		■	■	■	■	■	■
ボーリング調査		■	■	■	■	■	■

## フジクラの不適切行為に係る東通原子力発電所の調査結果について

不適切な行為が行われた製品の主な使用状況は、以下のとおりです。

発電所	不適切な行為が行われた製品	用途
東通	難燃電力ケーブル 難燃制御・計装ケーブル	発電所内の各種電源からモーターやポンプなどへの送電用ケーブルおよび発電所内の各種制御装置等から各種設備・機器へ電気信号を送るための伝送用ケーブルとして使用
	光ケーブル	発電所内の各種測定データを伝送するための光通信ケーブルとして使用
	コントロール銅管の被覆	発電所内の各機器を制御するための空気作動弁などへ圧縮した空気を送るための銅管の被覆として使用

調査の結果、これらの不適切な行為が行われた製品が使用されていることを確認しました。しかし、フジクラにおけるこれまでの製造実績や検査記録、当社による性能確認や工場への立入調査などにより、いずれの製品も性能・品質に問題がなく当社原子力発電所への安全性に対する影響はないことを確認いたしました。